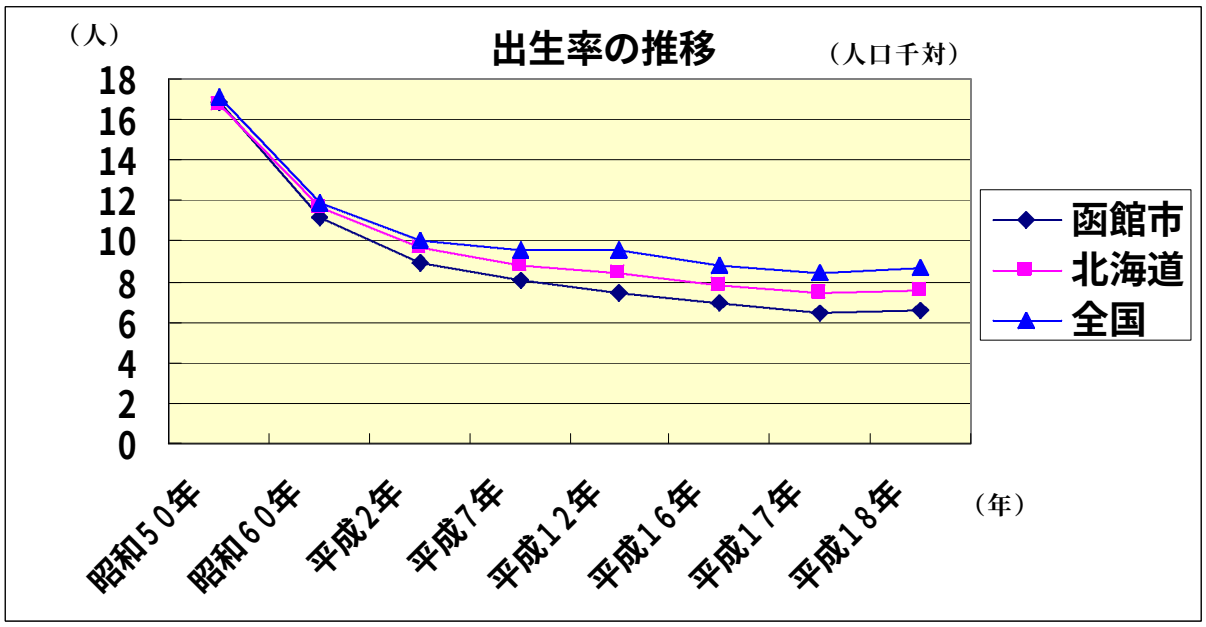
＜資　料　編＞

１　教育環境の側面から

（１）　出生数，出生率の推移

年　次	出　生　数　（人）			出　生　率　（人口千対）		
	総　　数	男	女	函館市	北海道	全　国
昭和３０	4,036	2,049	1,987	１６．７	２１．７	１９．４
４０	4,035	2,069	1,966	１６．６	１８．７	１８．６
５０	5,210	2,679	2,531	１６．９	１６．８	１７．１
６０	3,573	1,854	1,719	１１．２	１１．７	１１．９
平成　２	2,777	1,410	1,367	９．０	９．７	１０．０
７	2,488	1,234	1,214	８．１	８．８	９．５
８	2,348	1,194	1,154	７．９	８．８	９．７
９	2,241	1,148	1,093	７．７	８．６	９．５
１０	2,273	1,174	1,099	７．８	８．６	９．６
１１	2,271	1,152	1,119	７．９	８．２	９．４
１２	2,153	1,090	1,063	７．４	８．５	９．５
１３	2,080	1,119	961	７．２	８．２	９．３
１４	2,026	1,032	994	７．１	８．２	９．２
１５	2,063	1,019	1,044	７．３	８．０	８．９
１６	1,946	1,032	914	６．９	７．８	８．８
１７	1,947	983	964	６．５	７．４	８．４
１８	1,946	1,001	945	６．６	７．６	８．７

（平成１９年版「函館市の保健衛生」より　市立函館保健所）

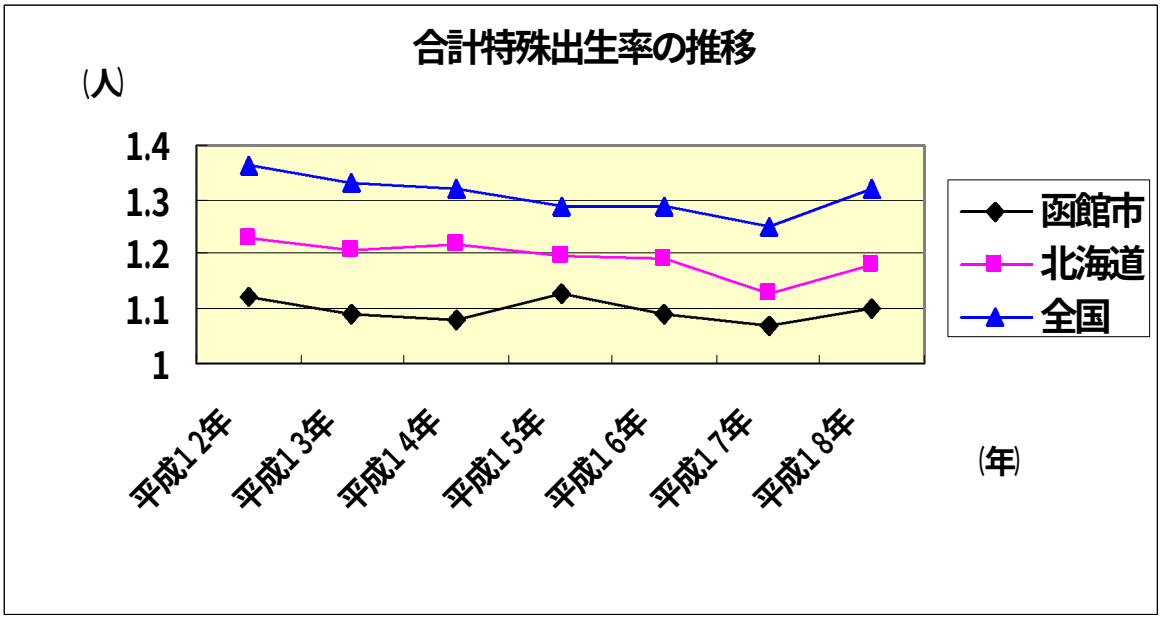


・　函館市においては，出生数，出生率ともに，昭和５０年代をピークに，それ以降減少傾向にあり，その比率は，全国や北海道に比較し，高い傾向を示しています。

（２）　合計特殊出生率の推移

年　次	出生児総数（人）	合計特殊出生率		
		函館市	北海道	国
平成１２	２，１５３	１．１２	１．２３	１．３６
１３	２，０８０	１．０９	１．２１	１．３３
１４	２，０２６	１．０８	１．２２	１．３２
１５	２，０６３	１．１３	１．２０	１．２９
１６	１，９４６	１．０９	１．１９	１．２９
１７	１，９４７	１．０７	１．１３	１．２５
１８	１，９４６	１．１０	１．１８	１．３２

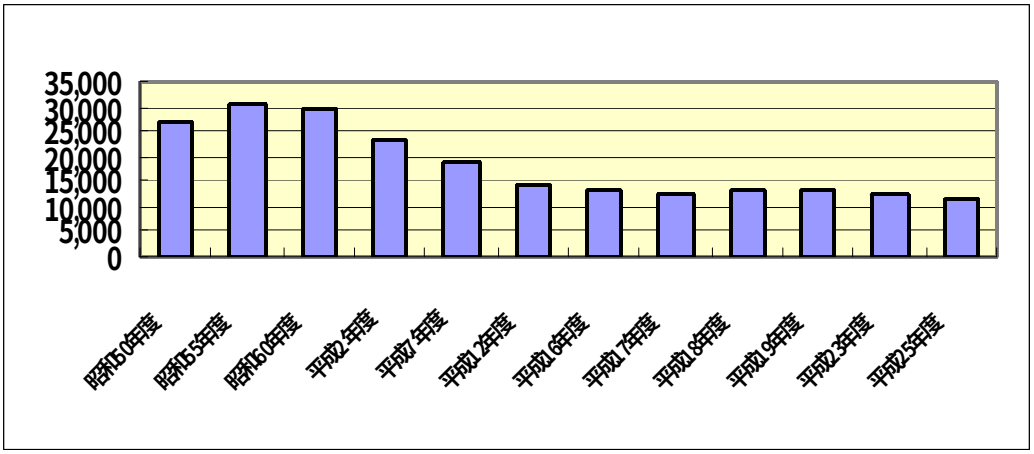
（平成１９年版「函館市の保健衛生」より　市立函館保健所）



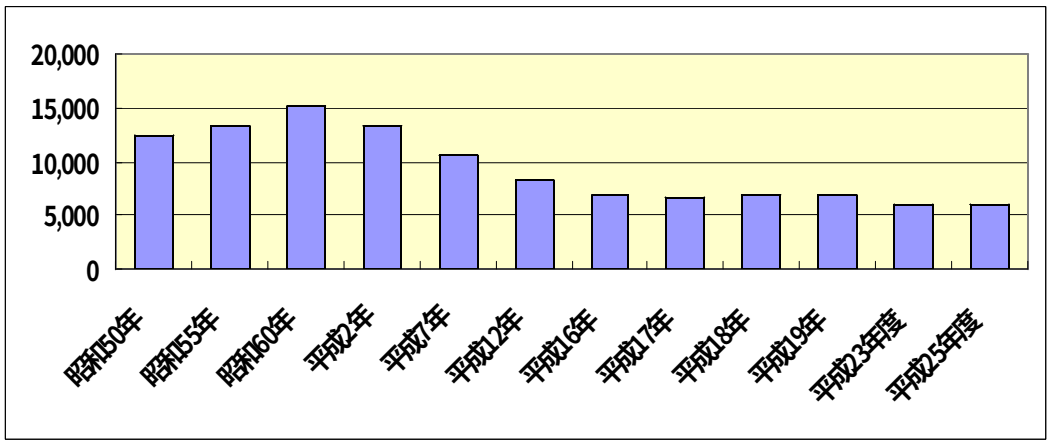
・　函館市の合計特殊出生率は，国や北海道に比較してもその率は低く，函館市の少子化傾向の実態が顕在化しています。

（３）　小・中学校の児童生徒数の推移と推計

①函館市立小学校児童数の推移と推計　　（単位：人）



②函館市立中学校生徒数の推移と推計　　（単位：人）

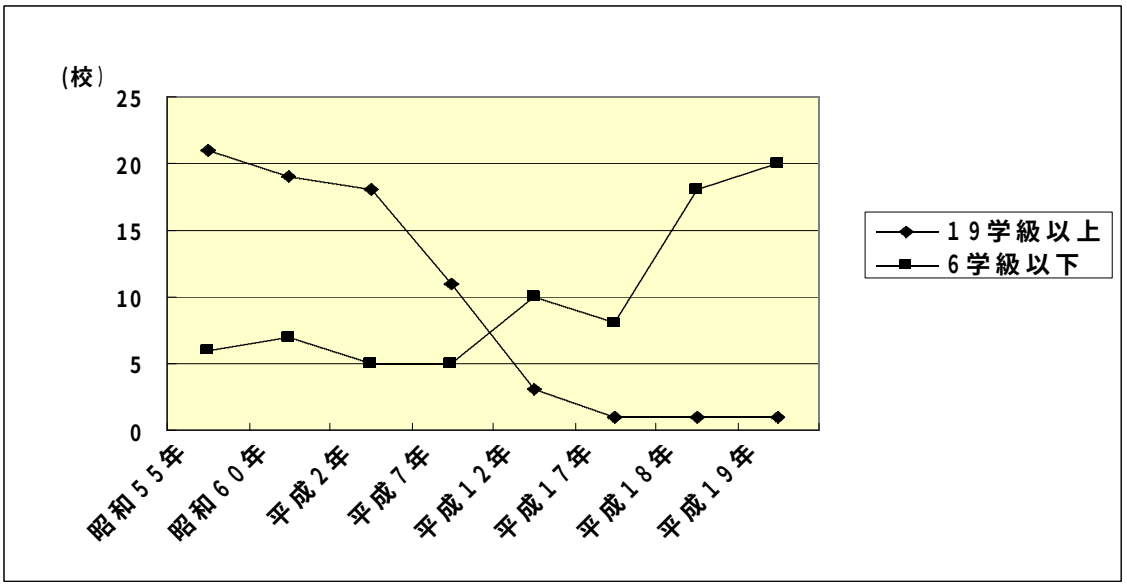


（函館市教育委員会）

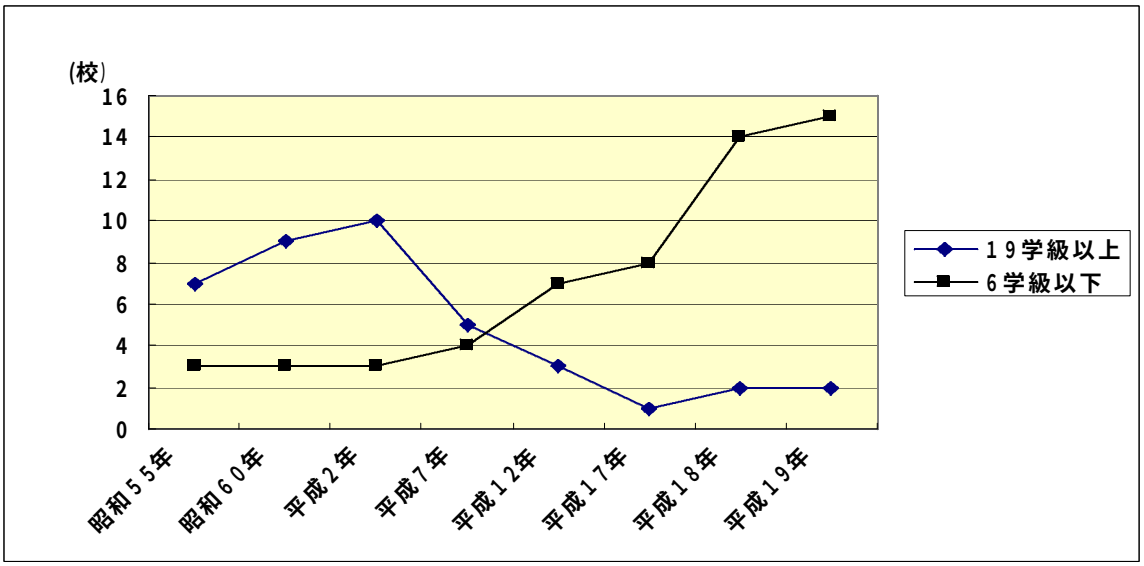
・　出生数の減少に伴い，小学校，中学校の児童生徒数も明らかな減少傾向を示しています。今後も，この傾向は続くものと推測されます。
・　函館市においては，少子化が進み，平成１９年度現在の市立小中学校の児童生徒数は，昭和５０年代と比較して，半分以下にまで減少しています。
・　また，平成２５年度の児童生徒数は，小学校がおよそ１万２０００人，中学校がおよそ６０００人になるものと考えられます。

（４）　小・中学校の学校規模の推移

①学校規模の推移（小学校）



②学校規模の推移（中学校）



（函館市教育委員会）

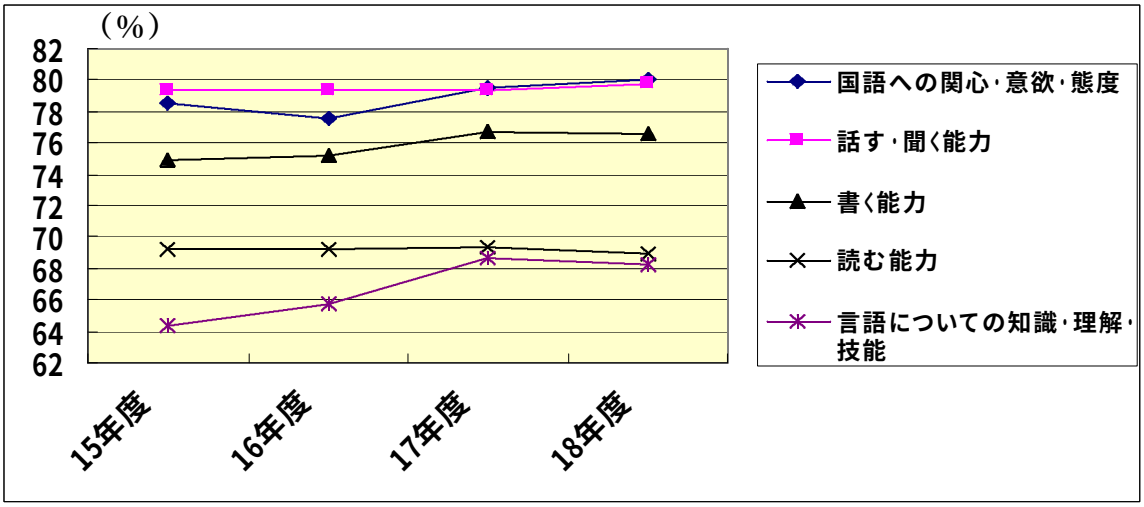
・　児童生徒数の減少は，１校当たりの学級数で示される学校規模にも大きな影響を与えています。
・　全体的に学校規模の小規模化が著しく，小学校においては学年が１学級および複式学級編制の学校が平成１９年度には４８校中２０校，中学校においては６学級以下の学校が２８校中１５校と，小規模化が進行しています。

２　「個性豊かに生きる子ども」の側面から

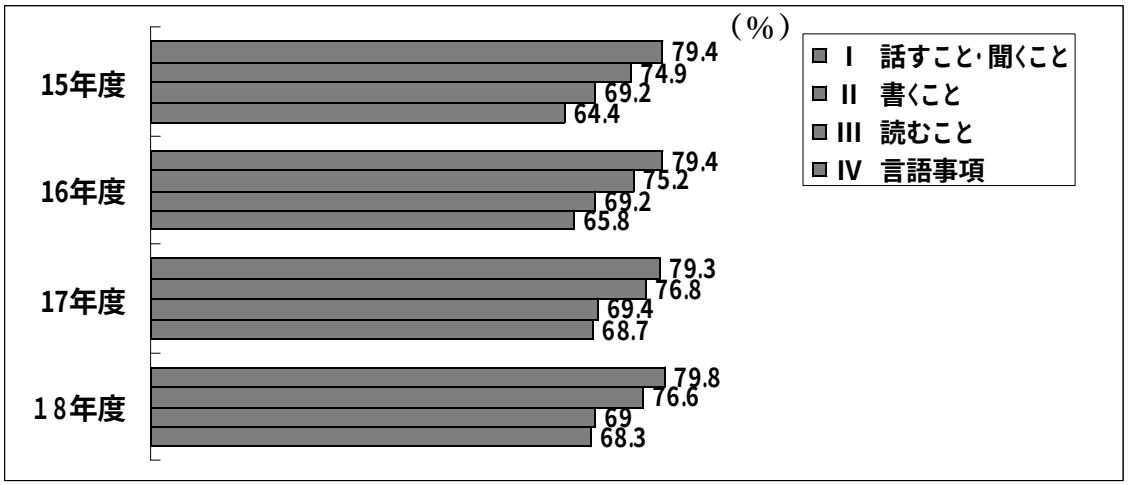
（１）　国語科・算数科の標準学力検査（ＣＲＴ）の結果（小学校５年生）

①国語科

ア　観点別得点率



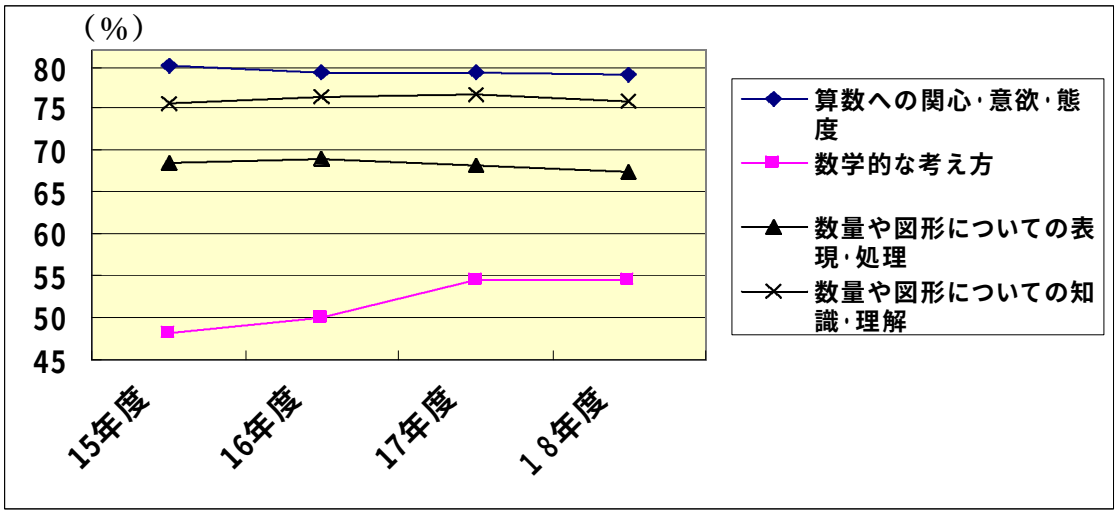
イ　領域別得点率



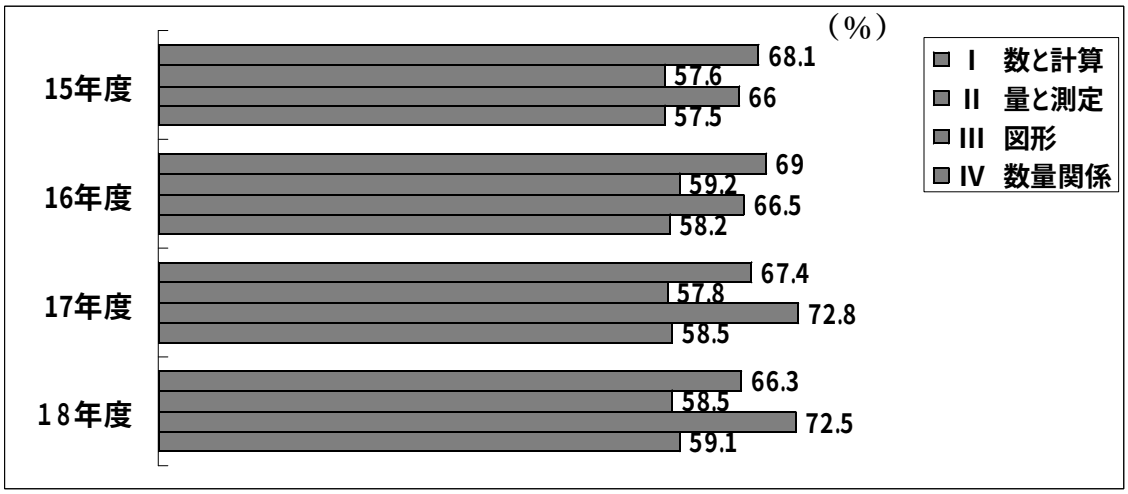
（平成１９年度「学習状況調査実施報告書」より　函館市教育委員会）

②算数科

ア　観点別得点率



イ　領域別得点率

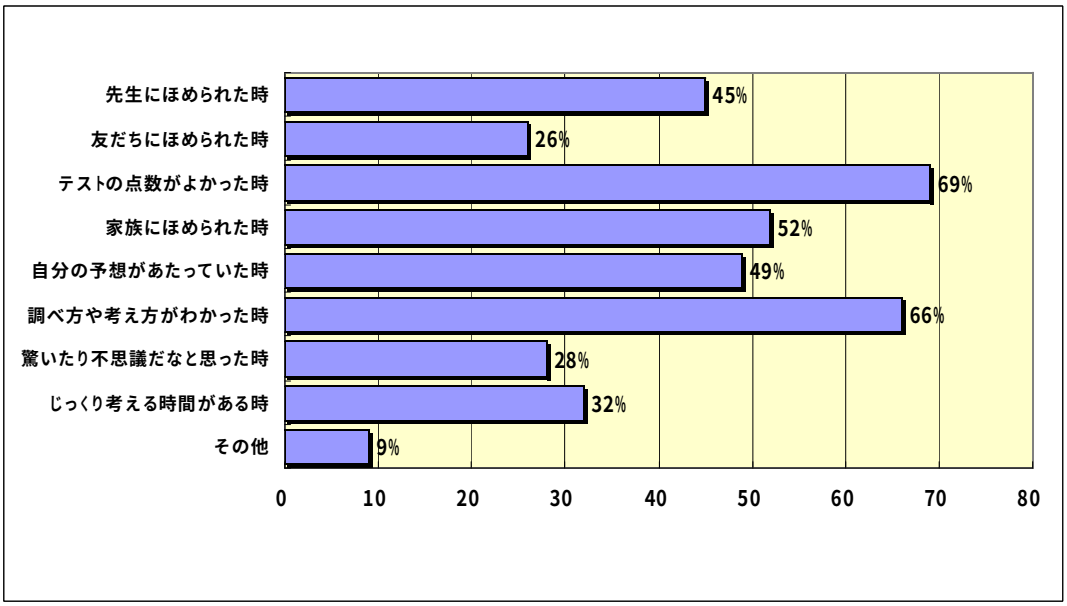


（平成１９年度「学習状況調査実施報告書」より　函館市教育委員会）

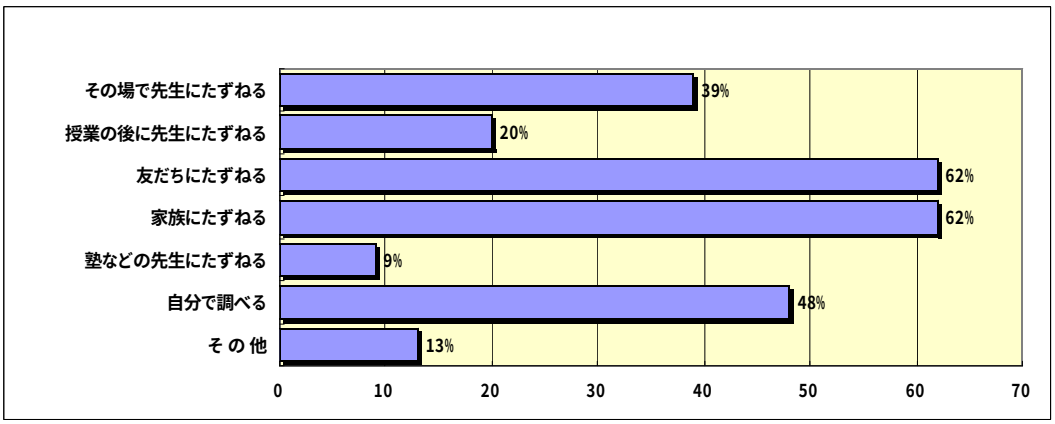
・　国語科については，「話す・聞く能力」に比べると，「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」について課題があります。また，算数科については，「数量や図形についての知識・理解」に比べると，「数学的な考え方」について課題があります。

（２）　学習に関する意識の実態（小学校５年生）

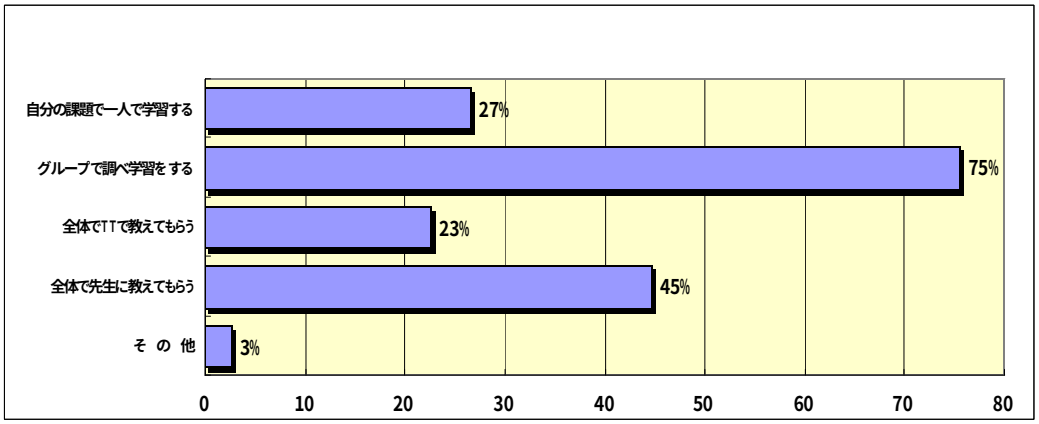
①どのような時に勉強のやる気がわいてくるのか



②勉強がわからない時にどうするか



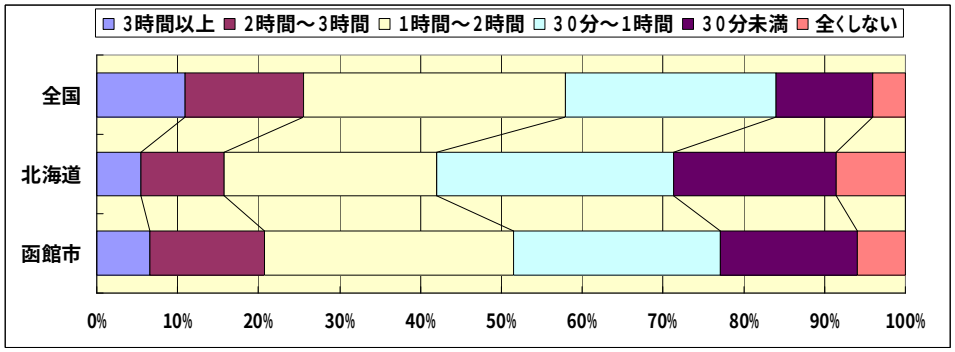
③どのような授業で勉強するのが好きか



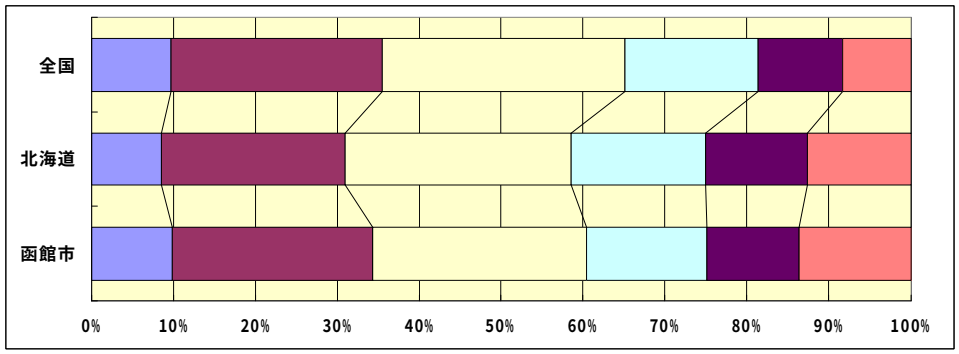
（平成１８年度「学習状況調査実施報告書」より　函館市教育委員会 ）

④学校の授業時間以外に，１日，どれくらいの時間，勉強をしますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

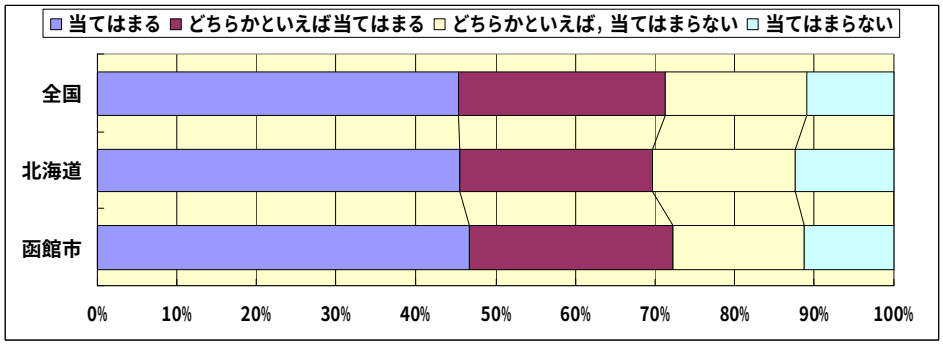


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

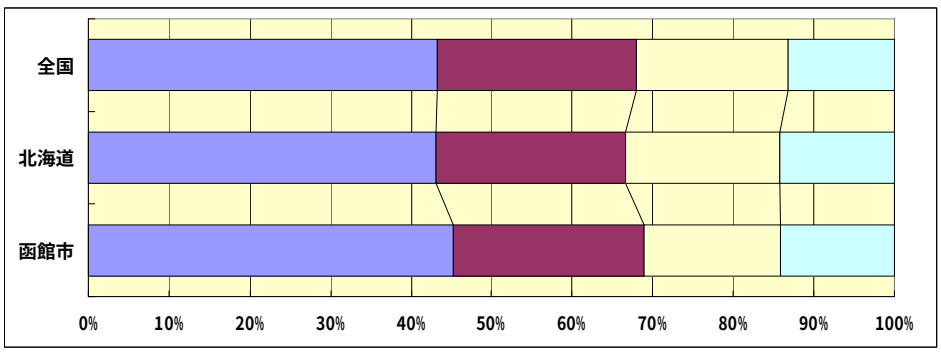
・　１日１時間以上勉強する児童生徒の割合は，小学校６年生５１．４％，中学校３年生６０．２％で，北海道と比べて高く，全国と比べて低い状況です。全国に比べ，全くしない割合が高くなっています。

⑤読書は好きですか

【小学校６年生】



【中学校３年生】



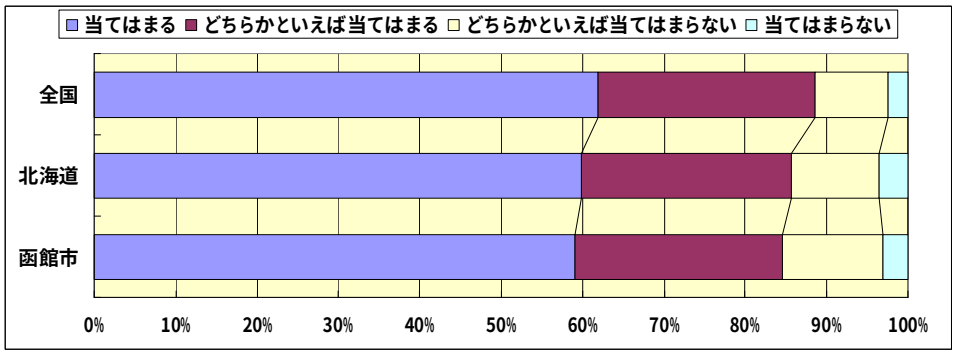
（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

・　読書が好きな児童生徒の割合は，小学校６年生７２．２％，中学校３年生６８．８％で，全国と比べてやや高い状況です。各学校における，朝読書や読み聞かせなどの取り組みによる成果が表れているものと考えられます。

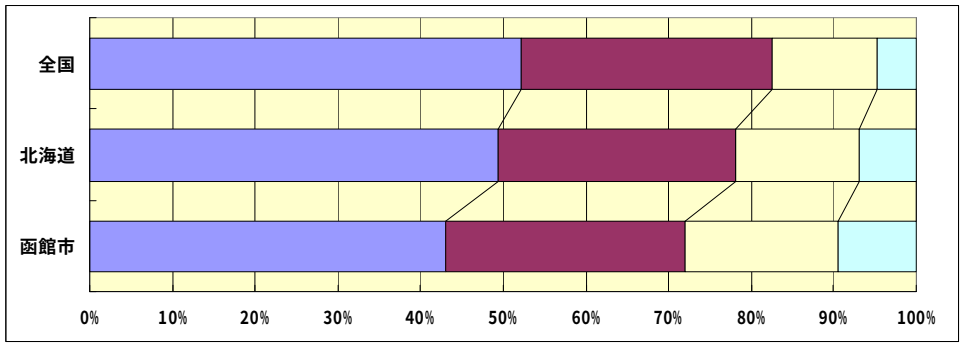
３　「優しさをもって生きる子ども」の側面から

（１）近所の人に会った時は，あいさつをしていますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

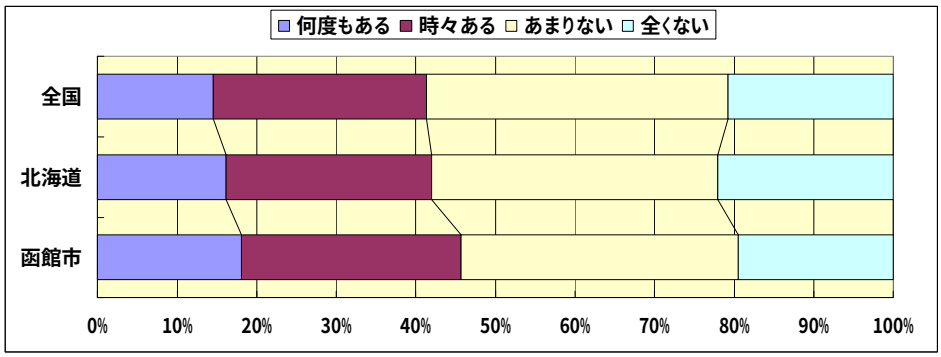


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

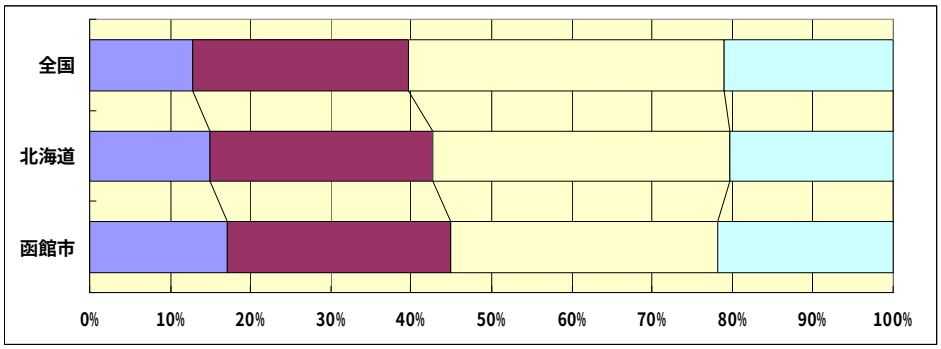
・　近所の人に会った時にあいさつをしている児童生徒の割合は，小学校６年生８４．５％，中学校３年生７１．９％で，全国と比べて低い状況です。

（２）体の不自由な人やお年寄りや，困っている人の手助けをしたことがありますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

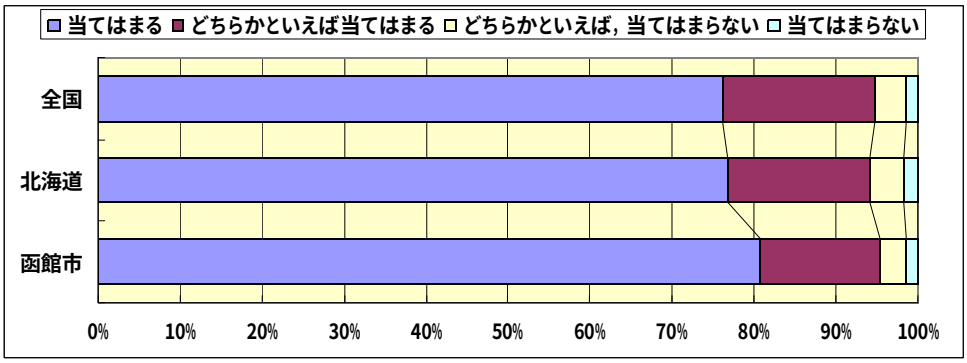


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

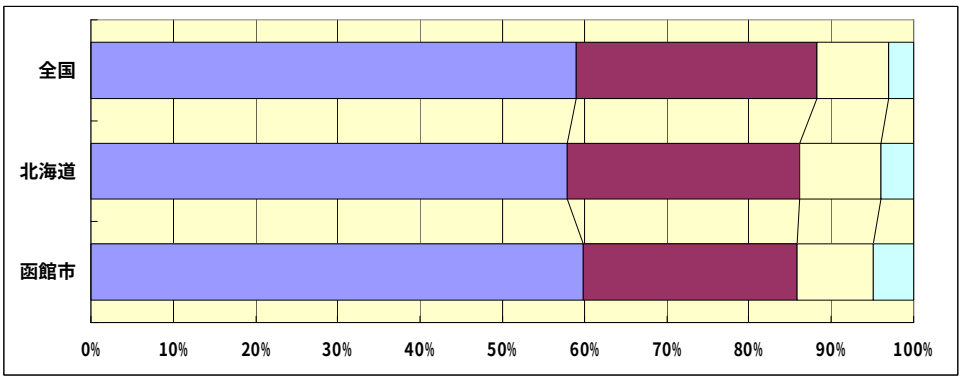
・　体の不自由な人やお年寄り，困っている人の手助けをしたことがある児童生徒の割合は，小学校６年生４５．５%，中学校３年生４４．９%で，全国と比べて高い状況です。

（３）いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

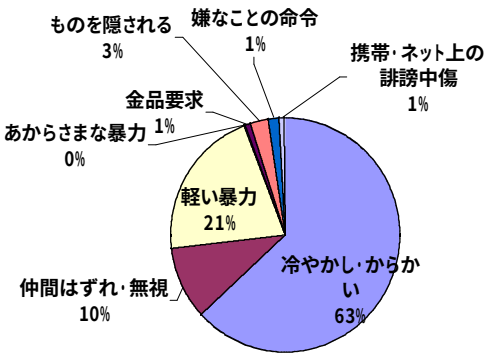


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

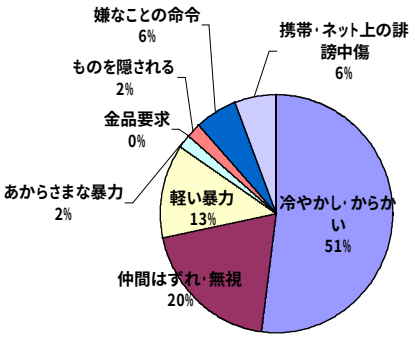
・　いじめは，どんな理由があってもいけないと思っている児童生徒の割合は，小学校６年生８０．６％，中学校３年生５９．６％で，全国と比べてやや高くなっていますが，中学校では，当てはまらないと回答した生徒の割合もやや高くなっています。

（４）いじめの態様

小学校のいじめの態様



中学校のいじめの態様

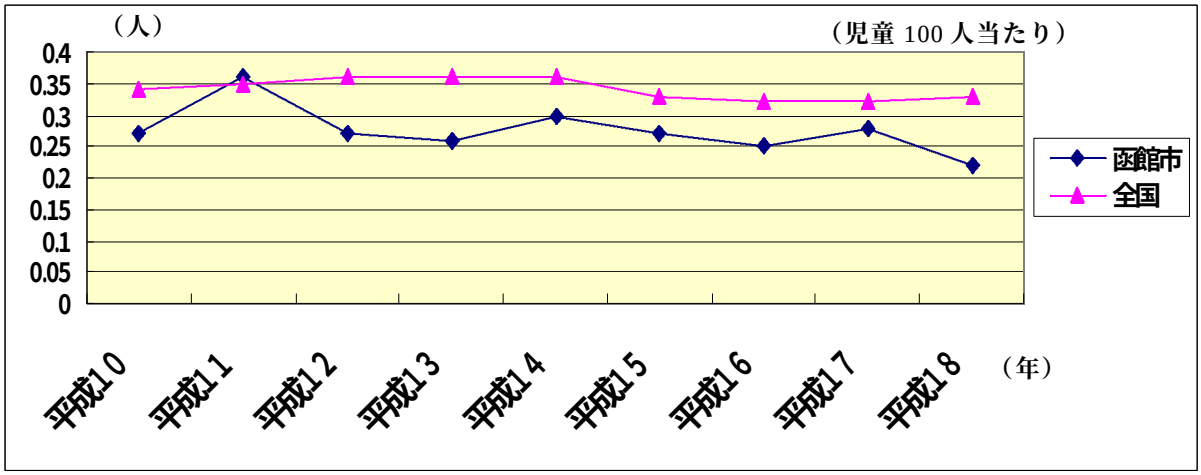


（平成１８年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より　文部科学省）

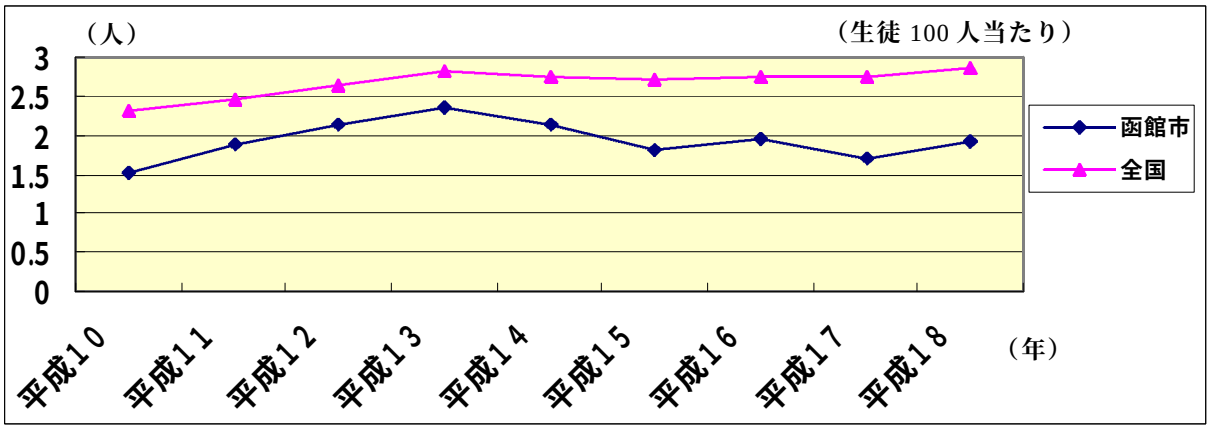
・　小学校，中学校とも，「冷やかし・からかい」が多くなっており，学年が進むにつれ，「仲間はずれ・無視」，「携帯・ネット上の誹謗中傷」などのいじめが多くなっています。

（５）不登校の出現率の推移

①小学校　不登校の出現率の推移



②中学校　不登校の出現率の推移



（函館市教育委員会）

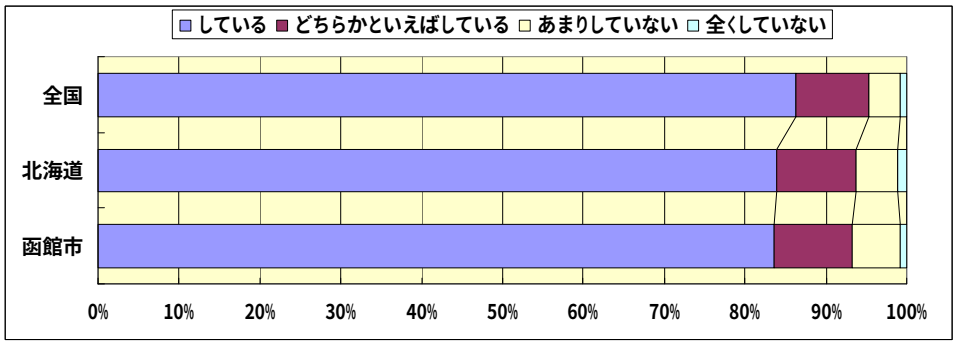
・　全国と比べると，不登校の出現率は低い状況にありますが，予断を許さない実態にあるとの認識の下，今後も引き続き，継続的な取組が求められます。

4　「たくましく生きる子ども」の側面から

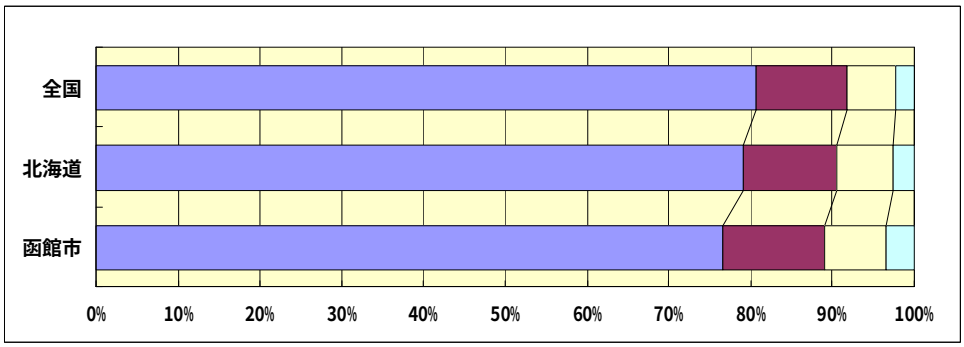
（１）生活習慣（朝食・運動）の状況

①朝食を毎日食べていますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

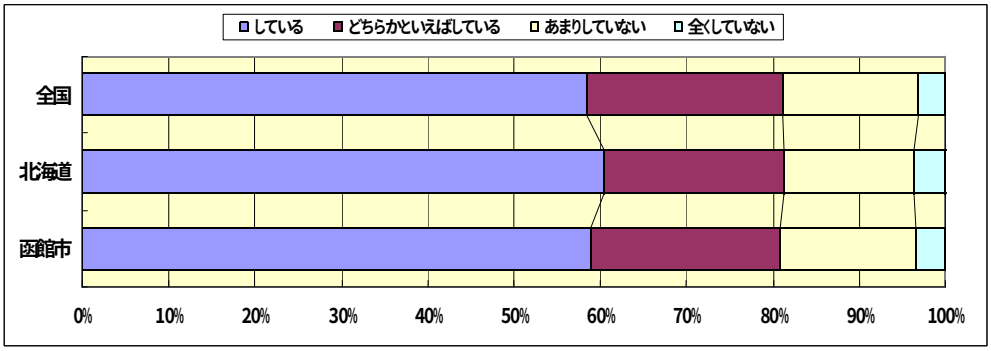


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

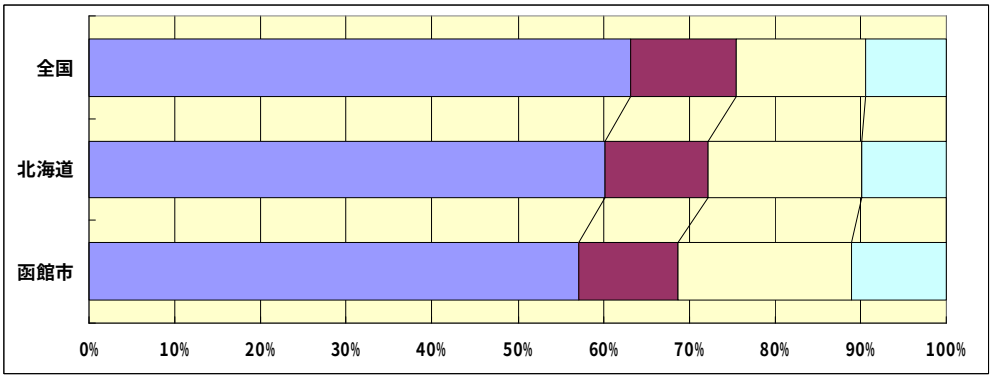
・　朝食を毎日必ず食べている児童生徒の割合は，小学校６年生８３．６％，中学校３年生７６．４％で，全国と比べて低い状況です。

②外に出て遊んだり，運動・スポーツをして体を動かしたりしていますか

【小学校６年生】



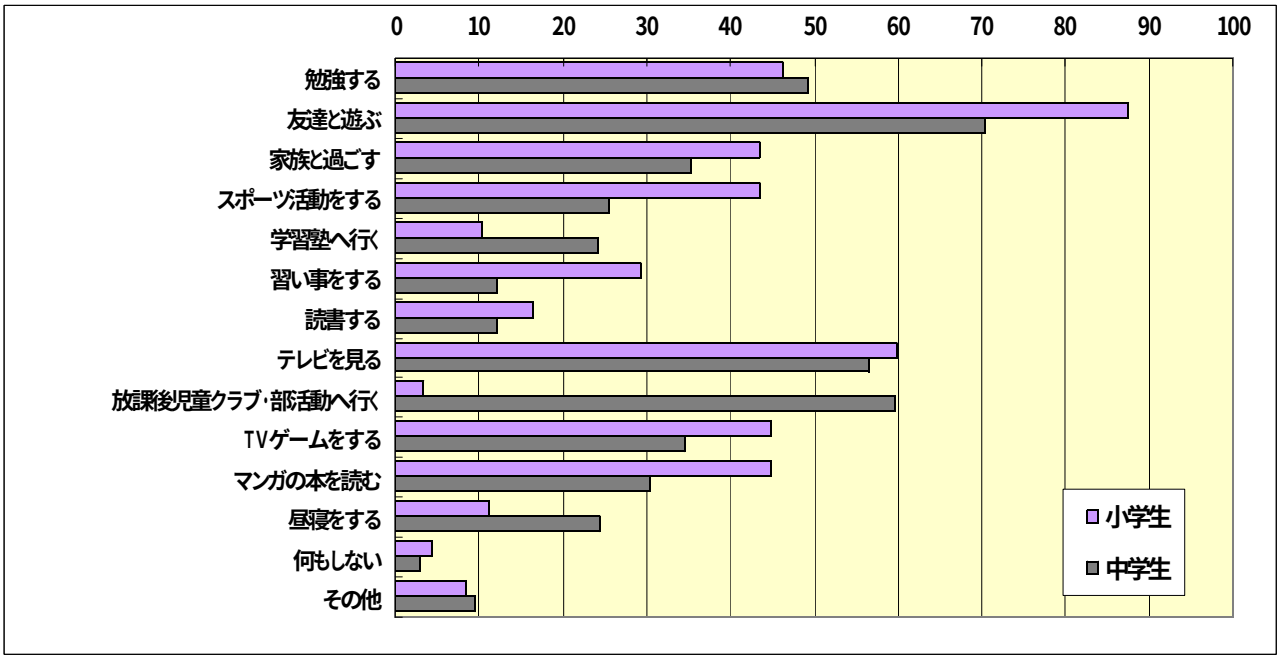
【中学校３年生】



（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

・　外に出て遊んだり，運動・スポーツをして体を動かしている児童生徒の割合は，小学校６年生８０．５％，中学校３年生６８．４％で，全国と比べて低い状況です。

（２）放課後や休みの日の過ごし方



（平成１７年度「子どもの活動支援アンケート調査」より　函館市教育委員会）

（３）　子どもたちの体格（平均身長・体重）の状況

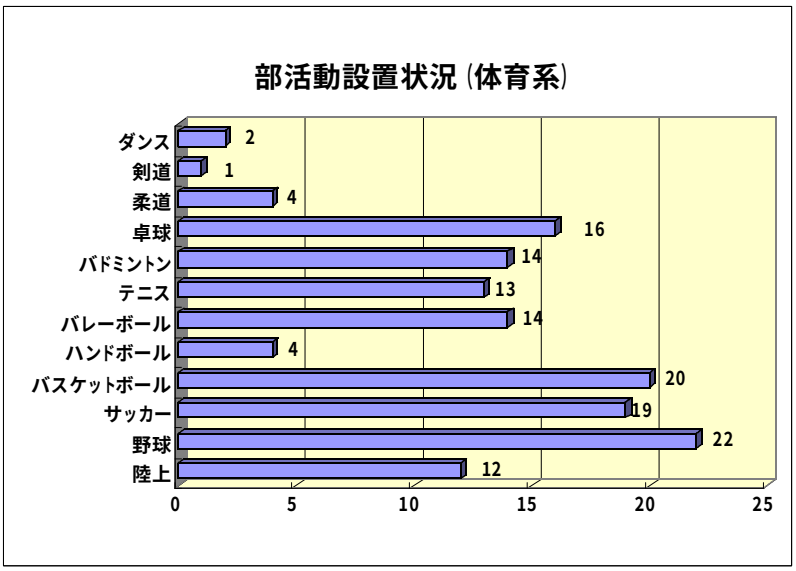
（単位：身長cm　体重kg）

項　目		７歳		１１歳		１４歳	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
身長	函館市	123.0	122.7	145.9	147.5	165.9	157.0
	北海道	122.9	122.3	145.7	147.8	166.2	157.0
	全　国	122.5	121.7	145.1	146.9	165.4	156.8
体重	函館市	25.1	24.6	41.3	40.6	59.5	52.1
	北海道	24.9	24.1	41.1	40.7	56.9	51.3
	全　国	24.3	23.6	39.1	39.5	55.3	50.8

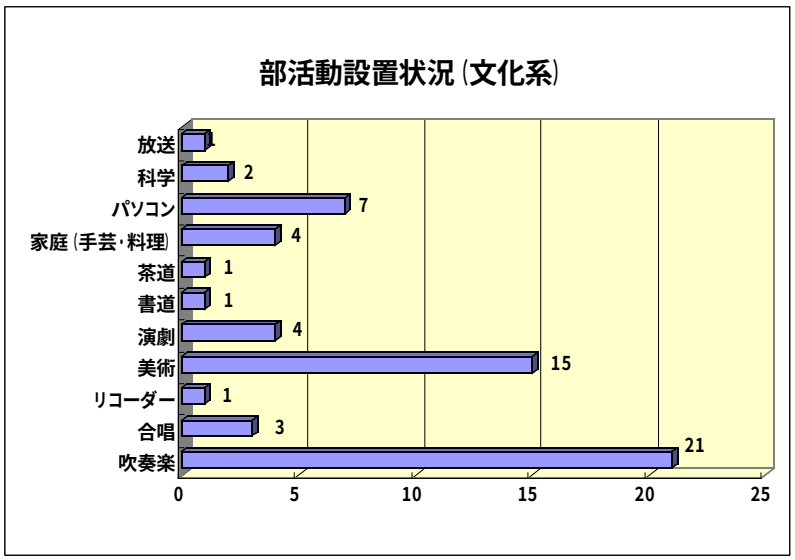
（平成１７年度「函館の教育２００６」より　函館市教育委員会）

・　函館市の子どもたちの体格は，おおむね全国や北海道平均を上回っており，身体的な成長について大きな落ち込みは見られません。

（４）　中学校の部活動の設置状況



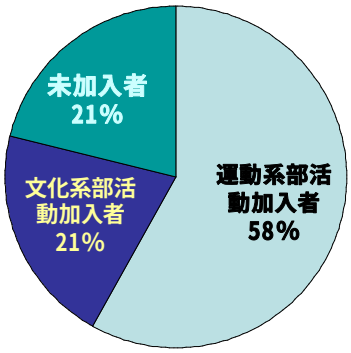
・　体育系の部活動設置状況を見ると，野球，バスケットボール，サッカーの順で多くなっています。



・　文化系の部活動設置状況を見ると，吹奏楽，美術，パソコンの順で多くなっています。

（平成１９年度「教育活動等に関する調査」より　函館市教育委員会）

（５）　中学生の部活動の入部状況（平成１８年度）



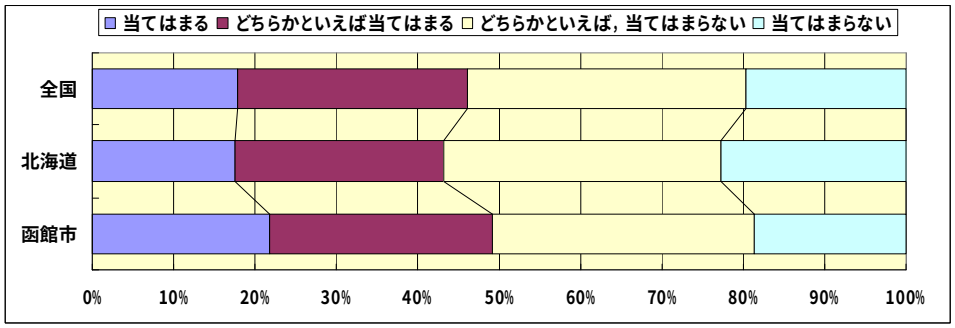
（平成１９年度「教育活動等に関する調査」より　函館市教育委員会）

・　中学生の部活動の入部状況は，運動系部活動加入者が５８％，文化系部活動加入者が２１％，部活動未加入者が２１％という実態にあります。

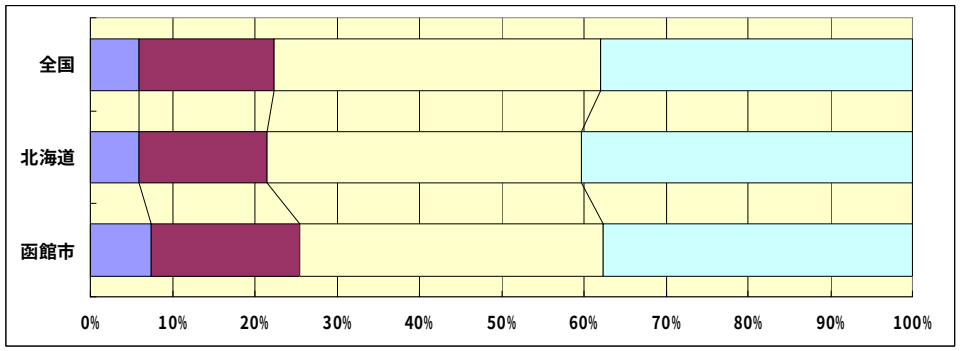
5　「函館に生きる子ども」の側面から

（１）今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】

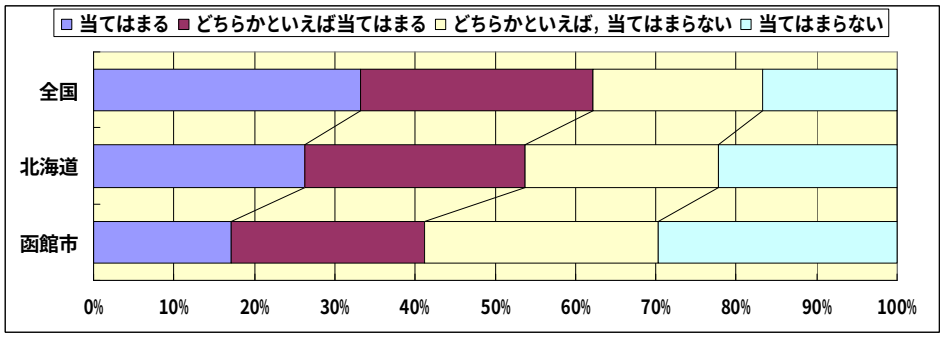


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

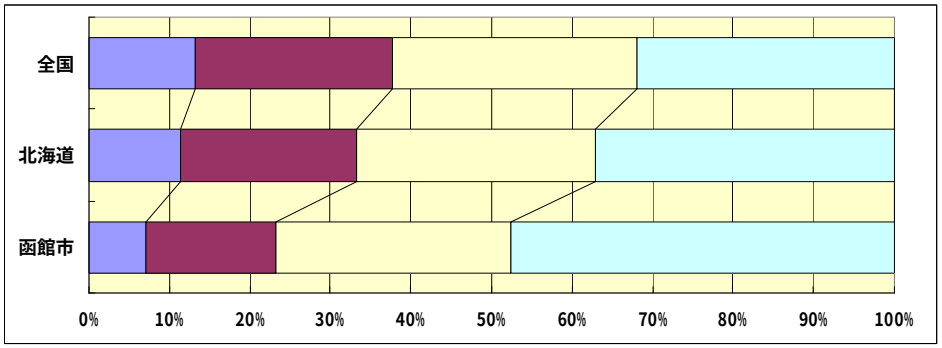
・　今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある児童生徒の割合は，小学校６年生４９．１％，中学校３年生２５．５％で，全国と比べて高い状況です。

（２）今住んでいる地域の行事に参加していますか

【小学校６年生】



【中学校３年生】



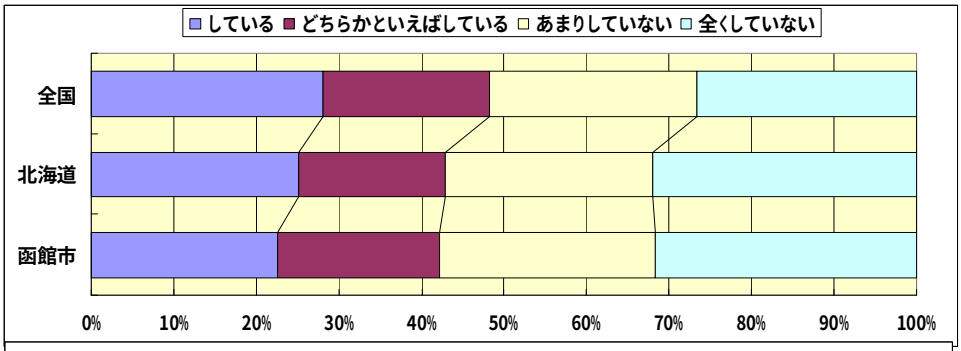
（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

・　地域の行事に参加している割合は，小学校６年生４１．０％，中学校３年生２３．１％で，全国と比べて低い状況です。地域の行事に参加していない割合が，たいへん高くなっています。

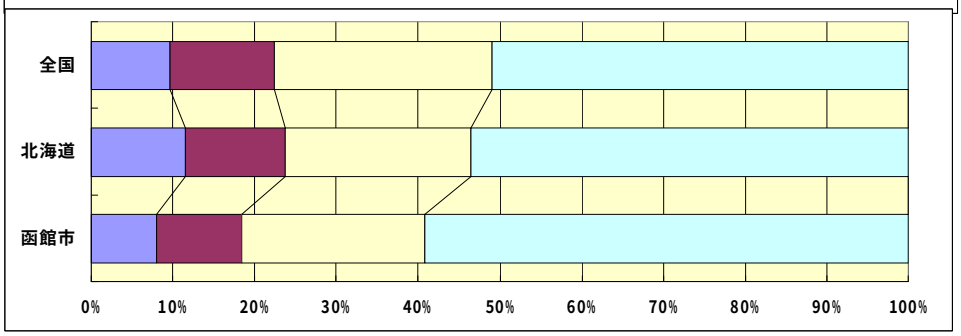
6　「未来に生きる子ども」の側面から

（1）テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを決めていますか

【小学校６年生】



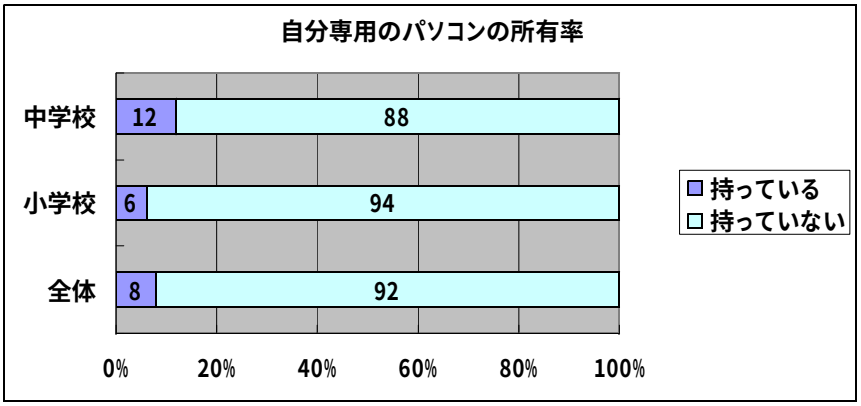
【中学校３年生】

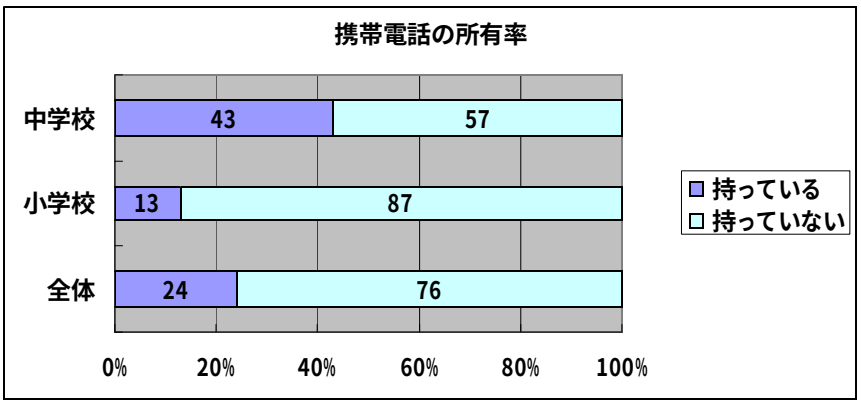


（平成１９年度「全国学力・学習状況調査」より　文部科学省）

・　テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを決めている児童生徒の割合は，小学校６年生４２．０％，中学校３年生１８．３％で，全国と比べて低い状況です。全国に比べ，ルールを全く決めていない割合が高い傾向があります。

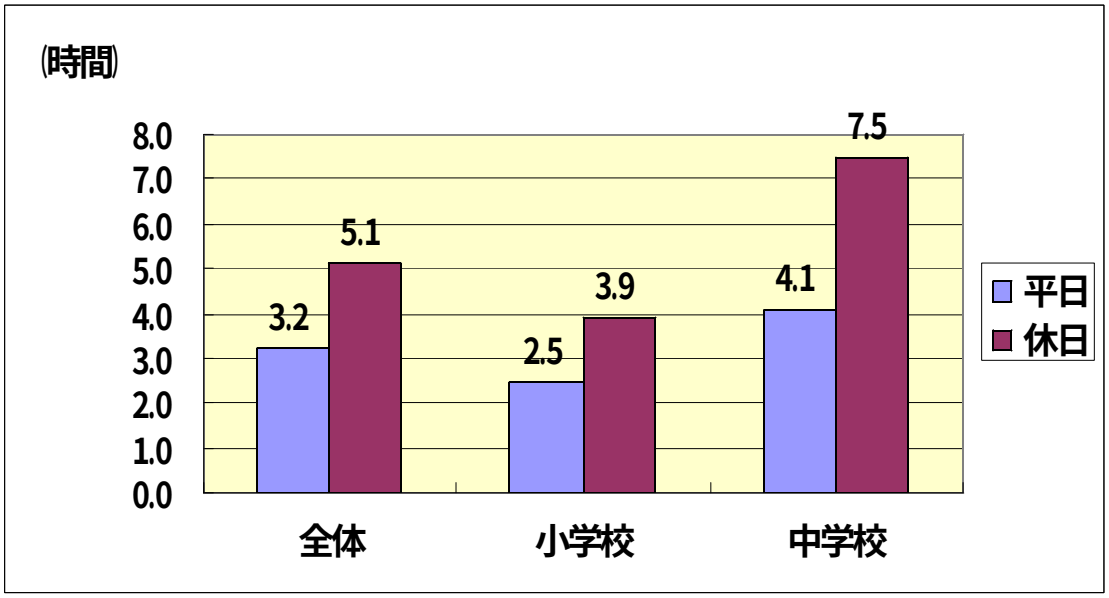
（２）パソコンと携帯電話の所有率





（平成１９年度「子どもとメディアについてのアンケート」より　函館市教育委員会）

（３）　子どもがメディアと接する時間



（平成１９年「子どもとメディアについてのアンケート」より　函館市教育委員会）

・　ここでいうメディアとは，テレビ，ラジオ，ゲーム機，マンガ，パソコン，インターネット，携帯電話，雑誌，ＣＤ，新聞などをさします。